

「サイエンスカフェ in 静岡」第 162 話（2023 年 3 月 30 日）
テーマ：「光合成をわかった気になる話」
講師：栗井 光一郎（静岡大学理学部生物科学科・教授）

会場・オンライン講演

- **参加人数** 76 名（会場：39 名 オンライン：37 名）

- **アンケート回答人数** 30 名（会場：30 名）

- **ご職業**

会社員：6	公務員：1	教員：4	自営業：2
主婦・主夫：5	小学生：0	中学生：0	高校生・高専生：2
大学生・大学院生：0	その他：10	不明：0	

- **年齢**

19 歳以下：3	20 歳代：1	30 歳代：0	40 歳代：3
50 歳代：1	60 歳代：4	70 歳代以上：15	不明：3

- **ご住所**

葵区：6	駿河区：10	清水区：8	富士市：0
焼津市：1	掛川市：0	富士宮市：0	藤枝市：2
浜松市：1	静岡県内その他：2	静岡県外：0	

- **この企画をどのようにお知りになりましたか。（複数回答有）**

継続参加による周知：14	静大のサイエンスカフェホームページ：8	
サイエンスカフェのポスター（学校やバスで掲示されているもの）：11		
SNS を通じて（サイエンスカフェの Twitter を含む）：1		
職場などの情報回覧：1	知人の紹介：2	その他：0

- **講演内容についてのご意見やご感想・質問などをご自由にお書きください。**
（10 歳代）
 - とても面白い講演をしていただき、ありがとうございました。チラコイド膜自体について考えたことがあまりなかったので、培養条件を変えたときの、タン

パク質量の推移などの話がとても楽しかったです。

- 本日の講義は、私が好きな（化学も大好きです！）生物基礎の内容に触れており（細胞内共生、ATP、チラコイド膜…）、わからない単語や物質もありましたが、自分の知識が深まったように感じ、とても楽しかったです。私は今年受験で静岡大学の農学部を受けようと思っていますが、今回の講義でより静大に入って勉強や研究をしたいという気持ちが強くなりました。また機会があったら参加して、他の講義もぜひ聴きたいです。本日はありがとうございました。・・・資料の中で字が小さくて見えないところがいくつかあったので、誰が見ても分かりやすい大きさにしていただけると、わかりやすく伝わりやすいと思います。
- 付き添いできたのですが、この話を聞いて、聞いた事もないことが分かったし、高校の時に習ったことをもう一度知れたので良かったと思いました。ひとつひとつの事を細かく説明してくれて良かったです。

（ 20歳代 ）

- 初めて参加させていただきました。生物の講義を聞くのは高校生以来でしたが記憶を呼び起こしつつ、楽しく拝聴できました。一步踏み込んだ知識を身につけられたような気になっています！18：00～という時間設定も勤めている身としては非常にありがたいです。ありがとうございました。

（ 40歳代 ）

- とても面白かったです。膜の性質が異なっても膜タンパク質がしっかりそろっていれば光合成できるのか興味を持ちました。
- とてもわかりやすい説明で理解しやすかったです。ありがとうございました。

（ 60歳代 ）

- CO₂削減のため光合成の効率化、人工的可能性を探して下さい。
- 光合成って植物が酸素をエネルギーに変えるすごいものと思っていましたが、奥が深いなと思いました。この前TVを見ていたら植物は危機的(?)状況になると、上部を枯らして下部を守るといったようなことを言っている方がいらっしゃいました。スライド49の真ん中のフラスコを見てそんなことを思い出しました。
- 生物学オリンピックの開催と成功（実施報告）を楽しみにしています。

- 生物学オリンピック、NHK ニュースで見ました。静岡大学がんばってください。

(70歳代)

- 光合成は明反応と暗反応によって行われている程度の理解であったが、今回の先生の講義でもう少し詳しく知ることができました。ありがとうございました。少しテンポが速くて頭がついていけなかったです。
- 久しぶりに対面講演を聞いてうれしかったです。
- 光合成について詳しく知ることができました。ありがとうございました。
- 久しぶりの対面カフェ。講義の内容は素人には難しかったですが、興味深く拝聴できました。ありがとうございました。
- 再開したことを、もっと大きく宣伝して下さい。まだ気が付いてない人もいます。今はまだ難しいでしょうが、ドリンク・菓子のサービスも再開してもらえるとありがたいです。
- 久しぶりのサイエンスカフェ、楽しかった。ありがとうございました。
- 「生物学オリンピック」など、人材育成のプログラムを知ることができました。

(年代不明)

- たいへん役に立ちました。これからも続けてください。